

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1001006

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	道路台帳補正更新事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	道路台帳補正延長		#N/A	
事業目標	L=9, 646m	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画 内容	◎道路台帳補正 ・L=9, 646m	◎道路台帳補正 ・L=6, 775m	◎道路台帳補正 ・L=465m	◎道路台帳補正 ・L=328m	◎道路台帳補正 ・L=578m	◎道路台帳補正 ・L=1, 500m	
	事業費(千円)	9,600	3,800	1,600	1,200	1,500	
計画 事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	9,600	3,800	1,600	1,200	1,500		
実績 事業費	事業費(千円)	8,128	3,497	1,197	1,092	1,071	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	8,128	3,497	1,197	1,092	1,071		
関連 事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等) ◎道路台帳補正 ・L=7, 370m	(実施内容等) ◎道路台帳補正 ・L=620m	(実施内容等) ◎道路台帳補正 ・L=580m	(実施内容等) ◎道路台帳補正 ・L=1210m	
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	L=6, 775m	L=465m	L=580m	L=1,210m	L=1,110m
	年度達成率		92%	75%	91%	71%	85%
	全体達成率		36%	49%	60%	71%	85%
事業進捗状況		☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	道路台帳補正更新事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	佐竹邦夫
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	道路台帳補正延長	
【抱える課題やニーズは】	更新された道路情報を提供できない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	道路整備が終了した道路の台帳管理。	① 道路台帳補正延長/道路台帳補正延長の実績	目標年度	平成24年度
			目標値	1,110 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適正な維持管理。	②	実績値	1,110 m
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による委託の実施	見積りにより民間業者に委託し、道路台帳の補正更新を実施しています。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	道路の整備等が終了した道路台帳を補正更新することは、維持管理上、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、適正な維持管理が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本町の道路台帳整備初年度から補正更新業務を実施している受託業者に依頼することで、台帳更新に伴う経費の軽減が図られたため、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

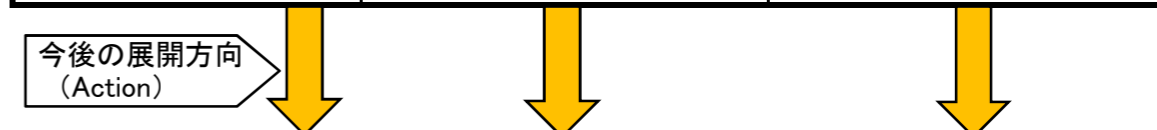
公平	判断の理由	整備が完了したすべての道路に対して、台帳の更新整備を実施することは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
道路台帳を更新整備することは、維持管理上、必要であるため、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		



継続/現状維持		
道路整備が完了した道路を維持管理する上で、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止